

公募推薦入試〔総合評価型〕

他大学との併願が可能。

専願制入試ではありません。国公立大学や他の私立大学との併願が可能です。

調査書・英語資格検定試験が活かせる。

高校の調査書の点数(全体の学習成績の状況)が10倍に得点化される「スタンダード方式」と、英語資格検定試験のスコアが得点化される「英語資格試験利用方式」があります。

1日の試験で最大6併願できる。また複数日受験が可能。

入試方式と学部・学科・課程・専攻・領域を組み合わせ、1日の試験で最大6回の合否判定を受けることができます。

高等学校の教科書に沿った基礎・基本を重視した内容。

出題の傾向と対策は過去問題集を活用してください。

英語資格検定試験得点換算表 ※2023年4月1日以降に受験したものに限り(スコアは下限)。

- 英語資格を利用する入試では、出願時に資格(スコア)を証明する文書の提出が必要です。例えば、英検(実用英語技能検定)の場合、「合格証明書」または「英検CSEスコア証明書」または「個人成績表」の写しを提出いただきます(いずれも日本英語検定協会から発送される紙の証明書類の写しに限り)。詳しくは、P.60～P.61をご確認ください。
- 英語資格試験利用方式では、事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、指定する2科目の得点、英語資格検定試験の点数(100点満点)(スコアを得点換算したもの〔下表〕)の合計点をもとに総合的に合否判定します。

実用英語技能検定試験の合否に関わらず、指定された級を受験したCSEスコアで得点換算します。

得点	実用英語技能検定 (英検®CSEスコア)	GTEC	ケンブリッジ 英語検定	IELTS™	TEAP (4技能)	TEAP CBT	TOEFL iBT®	TOEIC® L&R TOEIC® S&W
100点	2,300点(準1級以上受験)	1,180点	160点	5.5	309点	600点	72点	合計1,560点
90点	2,150点(2級・準1級受験)	1,050点	150点	5.0	267点	510点	56点	合計1,360点
80点	1,950点(2級・準1級受験)	930点	140点	4.0	225点	420点	42点	合計1,150点
70点	1,850点(2級受験)	810点	130点	—	195点	355点	—	合計1,000点

※実用英語技能検定は、英検-S-CBT®、英検-S-Interviewを含む。
(英検IBA®・英検プレテスト®は除く。)

※GTECはOFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください(CBTを含む)。

※TEAPは4技能すべてを受験した場合に限る。

※TOEFL iBT®はTest Dateスコアに限る(「My Best™ Scores」は利用できない)。

※TOEIC®は、L&R IPテスト・IPオンラインテスト、S&W IPテスト・IPオンラインテストは除く。

TOEIC® L&R/TOEIC® S&Wについては、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※ケンブリッジ英語検定は、Linguaskillを含む。

入試方式

公募推薦入試〔総合評価型〕には、5つの入試方式があり、志望する学部に合わせて選択することが可能です。
右ページの「科目・配点」とあわせてご確認ください。

スタンダード方式

事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、指定する2科目の得点と、調査書の点数(50点満点)(「全体の学習成績の状況」を10倍に換算したもの)の合計点で総合的に合否判定します。

英語資格試験利用方式

事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、英語資格検定試験の点数(100点満点)(スコアを得点換算したもの〔上記得点換算表〕)と、指定する2科目の得点の合計点で総合的に合否判定します。

2科目方式

事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、指定する2科目の得点の合計点で総合的に合否判定します。

高得点科目重視方式

事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、指定する2科目のうち、高得点1科目の得点を2倍に換算した得点(200点満点)と、残り1科目の得点の合計点で総合的に合否判定します。

英語重視方式

事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、英語の得点を3倍に換算した得点(300点満点)と、国語の得点の合計点で総合的に合否判定します。

■ 先端理工学部の高得点科目重視方式は、事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、数学または理科の得点を2倍に換算した得点(200点満点)と、英語の得点の合計点で総合的に合否判定します。

事前課題

公募推薦入試〔総合評価型〕のすべての入試方式に事前課題の提出が必要です(記入は1回のみで可)。
大学入学希望理由として次の内容を提出してください。

「本学の公募推薦入試〔総合評価型〕のアドミッション・ポリシー(P.78)の内容をよく理解した上で、龍谷大学への入学を希望するあなたの志や熱意について記入してください。(200文字以上400文字以内)」(提出方法はP.58で確認してください。)

科目・配点

事前課題の詳細については、P.58で確認してください。

	学部	入試方式	本学独自試験	調査書	英語資格試験	合計	事前課題
文 系 型	心理学部 政策学部	スタンダード方式	英語100点 + 国語100点	+	50点	= 250点	大学入学 希望理由
	文学部 国際学部	英語資格試験 利用方式	英語100点 + 国語100点		+	100点 = 300点	
	経済学部 社会学部	2科目方式	英語100点 + 国語100点			= 200点	
	経営学部 農学部 !						
	法学部	高得点科目重視方式	英語 + 国語のうち 高得点1科目200点 + 残り1科目100点			= 300点	
	文学部 ! 国際学部	英語重視方式	英語300点 + 国語100点			= 400点	

! 農学部は食料農業システム学科のみ／文学部は英語英米文学科のみ

	学部	入試方式	本学独自試験※2	調査書	英語資格試験	合計	事前課題
理 系 型		スタンダード方式	英語100点 + 数学※1 or 理科100点	+	50点	= 250点	大学入学 希望理由
		英語資格試験 利用方式	英語100点 + 数学※1 or 理科100点		+	100点 = 300点	
	先端理工学部 農学部	2科目方式	英語100点 + 数学※1 or 理科100点			= 200点	
		高得点科目重視方式 !	先端理工学部… 英語100点 + 数学※1 or 理科200点 農学部… 英語 + 数学※1 or 理科のうち 高得点1科目200点 + 残り1科目100点			= 300点	

! 高得点科目重視方式は出願する学部によって計算方法が異なります。例えば、先端理工学部と農学部の両方に出願し、英語100点、数学 or 理科50点を獲得した場合、事前課題である「大学入学希望理由」の内容と先端理工学部では200点（英語100点 + 数学 or 理科100点）、農学部では250点（英語200点 + 数学 or 理科50点）で総合的に可否を判定します。

※1: 数学の試験内容は以下のとおりです。

数 学	数学(1)	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)
	数学(2)	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)

※2: 数学 or 理科における選択可能科目は以下のとおりです。試験当日に、出願した学科・課程の選択可能科目を解答してください。

入試型	学部	学科・課程	試験科目			
			1限目 英語(70分)	2限目 数学 or 理科(60分)		
理 系 型	先端理工学部	数理・情報科学課程	○	○	—	—
		知能情報メディア課程	○	○	—	—
		電子情報通信課程	○	○	—	—
		機械工学・ロボティクス課程	○	○	—	—
		応用化学課程	○	○	○	—
		環境科学課程	○	○	○	○
	農学部	生命科学科	○	○	○	○
		農学科	○	○	○	○
		食品栄養学科	○	○	○	○
		食料農業システム学科	○	○	○	○

※ 先端理工学部の数理・情報科学課程、知能情報メディア課程、電子情報通信課程、機械工学・ロボティクス課程は、数学(1)のみ選択可能。

※ 先端理工学部の応用化学課程は、数学(1)、数学(2)、理科(化学)から選択解答可能。

※ 先端理工学部の環境科学課程、および農学部は数学(1)、数学(2)、理科(化学)、理科(生物)から選択解答可能。

解答方式・試験時間・試験内容

入試方式により、受験が必要な教科・科目は異なります。
P.16の「入試方式」、P.17「科目・配点」とあわせてご確認ください。

文系型	英語	マーク式(70分) 10:40～11:50	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
	国語	マーク式(60分) 13:10～14:10	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究（いずれも漢文除く）

※試験開始20分前の説明開始時刻までに指定の試験室に入室してください。

理系型	英語	マーク式(70分) 10:40～11:50	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
	数学(1)	記述式(60分) 13:10～14:10	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）・数学B（数列）・ 数学C（ベクトル・平面上の曲線と複素数平面）
	数学(2)	記述式(60分) 13:10～14:10	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル）
	理科	マーク式(60分) 13:10～14:10	化学（化学基礎・化学）、生物（生物基礎・生物）

※試験開始20分前の説明開始時刻までに指定の試験室に入室してください。

調査書

高等学校における学習成績(全体の学習成績の状況)を10倍に換算します。※スタンダード方式のみ

英語資格検定試験

P.16の〈英語資格検定試験 得点換算表〉をご確認ください。

出願資格・推薦基準

(出願資格)

次の①または②と、③に該当する者。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を、2023年度以降に卒業した者、および2026年3月卒業見込みの者。
- ② 通常の課程による12年の学校教育を、2023年度以降に卒業(修了)した者、および2026年3月卒業(修了)見込みの者。
- ③ 学業、人物、ともに優秀で、出身高等学校長もしくは中等教育学校長が推薦する者。

(推薦基準)

本学のアドミッション・ポリシー〔公募推薦入試(総合評価型)〕をよく理解しており、入学への志や熱意を有していると認められる者。
調査書に記載している学習成績の状況から、総合的な基礎学力および適性を有していると認められる者。

本学では以下の学校を2023年度以降に修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者については出願資格を認めています

【朝鮮高級学校：12校】

北海道朝鮮初中高級学校、東北朝鮮初中高級学校、茨城朝鮮初中高級学校、東京朝鮮中高級学校、神奈川朝鮮中高級学校、愛知朝鮮中高級学校、京都朝鮮中高級学校、大阪朝鮮高級学校、神戸朝鮮高級学校、広島朝鮮初中高級学校、山口朝鮮高級学校、九州朝鮮中高級学校

合否判定

公募推薦入試(総合評価型)

1. 各学部・学科・課程・専攻・領域において、入試型・方式毎に合否を判定します。
2. (1) スタンダード方式 受験者
事前課題を提出し、指定するすべての試験科目を受験した者を対象とし、①事前課題である「大学入学希望理由」の内容、②指定する教科・科目の合計点に受験者の高等学校における学習成績(全体の学習成績の状況)の10倍(50点満点)を加算した点数、これら①と②をもとに総合的に合否を判定します。
(2) 英語資格試験利用方式 受験者
事前課題を提出し、指定するすべての試験科目を受験した者を対象とし、①事前課題である「大学入学希望理由」の内容、②指定する教科・科目の合計点に、英語資格検定試験のスコア(100点満点)を加算した点数、これら①と②をもとに総合的に合否を判定します。
(3) 2科目方式・高得点科目重視方式・英語重視方式 受験者
事前課題を提出し、指定するすべての試験科目を受験した者を対象とし、①事前課題である「大学入学希望理由」の内容、②指定する教科・科目の合計点、これら①と②をもとに総合的に合否を判定します。

※先端理工学部は、出願する課程により選択可能な科目に制限があります。不適切な科目を選択してしまうと、当該科目は欠席扱いとなり合否の判定対象となりません。
例えば、数理・情報科学課程と応用化学課程に出願し、2時間目で「数学(2)」を選択解答した場合、応用化学課程は出席として扱いますが、数理・情報科学課程は欠席扱いとなり合否の判定対象となりません。
3. 教科・科目の点数については、試験日や選択科目間で「中央値補正法」等による得点調整を行います。中央値は50点。